

発行

2017

5/30

まつもと

公民館報

シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 31

松本市重要無形民俗文化財

千鹿頭神社の御柱祭り

(撮影 2017.5.3 千鹿頭神社)

5月3日、晴天に恵まれた千鹿頭神社で御柱祭りが盛大に執り行われました。市内の御柱祭りは七か所で行われています。諏訪の御柱祭の翌年にあたる、卯と酉年の例大祭に合わせて執り行われます。元和4(一六一八)年、この千鹿頭山の尾根で神田・中山が高島藩領に、里山辺が松本藩領に分けられたため、本殿が並立し拝殿も二棟あります。神田の御柱は第一位と四位、林・大嵩崎が二位と三位を担当します。時代が変わっても、連綿と引き継がれている祭りです。

桜並木道が危機に

花見といえば桜、特に目にするソメイヨシノが、今危機に瀕(ひん)してきています。

人気種のソメイヨシノ

明治以降、日本ではソメイヨシノが他の桜を圧倒する人気種です。河川敷や公園の植え込み・街路樹などに広く用いられていることから、見る機会が他種より多く、花見でも特に目にします。

ソメイヨシノは花を咲かす時期が早く、散らすまでの時間が短いので、学校などではヤエザクラも植えて、入学式にはいずれかの桜を咲かせるようにしていることが多いようです。

ソメイヨシノの寿命

ソメイヨシノは、エドヒガン系の桜と、日本固有種のオシマザクラの雑種との交配で生まれた、日本産の園芸品種ですが、単一の樹を始原とするクローンであることが判明しています。全固体



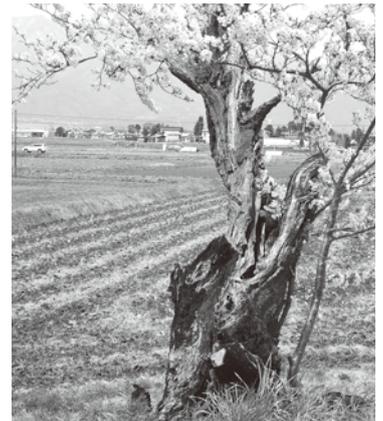
松本城と桜

がクローンなので生物学的に弱点が多く、並木などに人的に植樹されていることから、病害を広げる原因にもなっています。また、新しい耐性を手に入れる能力も低くなっています。

最近では、衰弱した木が増えてきているようで、特に大量に植樹されている場所の被害が著しく、回復不能なダメージを受けて伐採される事例が相次いでいます。

このことからソメイヨシノの寿命は60年という説があります。

ソメイヨシノは成長が早いので、老化も早いという説が



古木桜

あるほか、街路樹として多用されているため根の周辺まで舗装されていたり、排気ガスなどで傷んだり、根の周辺を踏み荒らされることも寿命を縮める原因となっています。

筑摩野中学校でも、桜の木が枯れてしまうことが危惧されています。道行く人々の目を楽しませてくれる桜の木は、生徒たちが手作業で移植をしたと、創立10周年誌に書かれています。およそ50年以上たつ古木桜で、今は美しく咲いていますが、寿命を考えると近い将来、花を付けなくなる恐れがあります。

花見のルーツ

日本の春の風物詩といえ花見です。この花見、花は限定されていないのに誰もが

「花見」「桜」という認識を持っています。

花見のルーツを調べると『古今和歌集』にたどりつきます。『万葉集』には、春の花では桜より梅のほうが多く詠まれています。平安時代になると、貴族たちは桜を好むようになり、「花見といえは桜」を指すようになりました。

それまで桜の花があまり観賞されなかったのは、桜がその年の農作物の出来を占う役目を担っていたからです。

桜の花の量が収穫高を左右すると考えられ、万葉の人々は毎年、桜の花の量に一喜一

憂し、花見などしている余裕はなかったようです。

花見の宴は平安時代、嵯峨天皇の宮中で行われたものが最初だといわれています。平安貴族の遊びだったものが、江戸時代になると庶民の間にも浸透し、春の国民的なイベントへと拡大していきました。

桜の木は、山の神が降りてくる時の目印として神聖視されていました。ちなみに花見酒は、桜に供えたお酒のお下がり。をいただいたのが始まりです。こうしたルーツを知っておくと、日本人としての品格をちよつと上げることができるかもしれません。

ちよこつと 松本さんぽ

～新鮮に映る花時計公園～

若葉が美しい5月の花時計公園では、噴水のところで遊ぶ子どもたちを見守る保護者や、買い物客の人たちが行き交う場所である。普段見慣れている街並みも、赤外線カメラで撮影すると異次元の写真になり、目に留まって新鮮だ。



(撮影 2017.5.5)



最後に叩いた人から指導を受ける

上角影伝統芸能文化保存会

この神社は、京都祇園社（八坂神社）から勧請され、生活に密着し、健康祈願、家内安全、五穀豊穡を祈る催事が行われてきました。しかしそれは、戦後大きく変貌をきたし、舞台（山車）も倉庫に入ってしまった。

近年、町会内に住宅が増え、40戸足らずであった集落も、90戸を超えました。すると「子どもたちも増えてきた。昔のように祭りを通して、もっと交流を図りたいものだ」との声があがり、その昔太鼓を叩

祭復活に新しい風

梓川地区の上角影八王子社の祭囃子が、26年の時を経て復活しました。その大きな力になったのは、上角町会に新しく移ってきた人たちでした。

いたり、若連として活躍した60代70代の仲間が「できることからやってみよう」と、上角影伝統芸能文化保存会を立ち上げました。

伝統芸能復活へ

昨年の春祭りに舞台を境内に引き出し、飾りつけたところ、多数の人がやってきたので、今年はお囃子を復活させることになったそうです。そして新しい

人たちが動き始めました。笛の伝承者の録音テープが残っていたので、放送局に勤めていた人が、雑音を除去してデジタル化しました。今年がこれに合わせて、子どもたちが太鼓を叩いていました。さらに笛の経験者が演奏の復活に向け動いているそうです。「ゆくゆくは舞も復活させたい」と皆さん語っていました。

風まの力

若い人、新しい人たちが進んで参加できる背景には、町会の積極的な受け入れがありました。新しく来た人を、町会行事にどんどん誘ったそうです。そして2、3年後には



復活した祭囃子

町会の役員をやってももらいます。もちろんこれは押付けで

新旧の住民が一つになり、住みやすいまちづくりをしていく一つの事例だと思えます。お祭り当日、我も我もと舞台の綱を引く子どもたちにも、未来への絆を感じました。

写真でつづる まつもとの今昔③2

～上土町～



昔

(1997.6 写真提供：日本報道写真連盟) 上土町の通りから東小路に入った一角に袋小路の飲食店街があった。雨上がりで濡れた道にネオンが反射して、夕景にマッチしていた。



今

(2017.4.22 撮影) 左側の家は当時のまま残っているが、周りの建物は取り壊されて有料駐車場になっている。

おこひる

笑顔とあいさつの効用

境界を接するお隣との関係は、良好な時ばかりではない

▼市営住宅の住空間でも、いろいろな原因からもめぐると

が起ころ。この4月に、念願の新築一戸建てに引っ越した4人家族の体験だ。小学生2人の母親が、住宅監視員の私に「年長者の言うことを聞いてよかったです」と言った▼3年以上前のことだ。この家族は、下の階に住む一人暮らしの60歳の男性に、子どもがうるさいと、怒鳴り込まれた。元気な子どもも足音に、男性は我慢ならなくなつたのだから▼それから、その男性を避け、無言でやり過ごした。その訴えと相談に、私は、対応をアドバイスした。まずは謝罪し、改善に努める旨を話す。日々の出会いは、強いて笑顔であいさつを試み、事態は一変したそう。下の階の男性は、あいさつに応えてくれ、2人の小学生にお菓子までくれるようになった▼笑顔が、相手を思いやるきっかけになるかもしれない。笑顔の先には、世界の平和も待っている気がする。

地域探訪

歩まろう松本!

34

本郷地区ウォーキングコース

本郷地区は松本市の東北、広大な森林と女鳥羽川の扇状地にあり約38平方km、その中心部は浅間温泉です。北は福祉ひろばから、南は横田まで5.5kmのコース「福祉ひろばウォーキングコース」を約2時間かけて歩きました。

豊かな自然と歴史・文化

最初に見えるのは標高860mの御殿山です。往復2時間の「急坂トレッキングコース」があり眺望抜群、北アルプス・松本平のビュースポットです。温泉街を囲むように小笠原家廟所・天満宮・薬師堂など貴重な歴史遺産が点在し、与謝野晶子歌碑・芭蕉句碑をはじめ多くの文人の句歌碑が建っています。温泉街を南に進むと大宮神社が有ります。祀られたのは鎌倉

時代後期と伝えられ、5月の例祭は多くの人で賑わうそうです。途中でコースを左折し、ぼたんの寺として有名な玄向寺に向かいます。観光客が増えたためか駐車場や案内版が充実しており、見学者に優しい名所です。また、参道に並ぶ石仏の数には圧倒されます。松本城主水野氏の廟所としても知られ、外屏の瓦に葵の御紋が見られます。また、槍ヶ岳開山の幡隆上人立像、上人書の念仏塔もあります。



スポーツ施設の充実

かつての松本市自転車競技場は改修され、松本山雅FCの優先練習コートとして全面天然芝と人工芝の「かりがねサッカー場」に生まれ変わりました。施設は充実し、一般の活用もできる屋根付フットサル場が併設されています。

ここから北へ戻ると、外観をみただけで観客席の高さ、大きさに圧倒される松本市野球場です。このグラウンドで大勢の観客のなかで対戦する、高校球児の熱戦が目につかびます。毎年6月末に行われる、激坂「ツール・ド・美ヶ原自転車レース」はここがスタート地点です。

地区ではこのマップにない、いくつかの新しいコースでのウォーキング大会を実施しているとのこと。今回、南半分は紹介しきれませんでした。各地域は見どころいっぱい一日かけて歩いてみたい思いに駆られました。

新任公民館職員

公民館長

- 東部公民館 宮下 隆夫
鎌田地区公民館 田中健太郎
島内公民館 赤廣 三郎
寿台公民館 青木 慎一
本郷公民館 橋本 眞一

公民館主事等

- 第一地区公民館 北平 知子
安原地区公民館 茂住 耀子
松南地区公民館 藤井 勇太
中山公民館 柳原 一也
島立公民館 嶋口 健太
笹賀公民館 加藤 正洋
芳川公民館 塚原 貴裕
寿台公民館 浅井 勇太
入山辺公民館 飯田 一至
あがたの森文化館 須山 雄史
中央公民館 栗田 幸信
中央公民館 福沢 佳典
中央公民館 土井 梨菜
中央公民館 瀧川 航平

平成29年度館報全市版編集委員

- 第一 大輪貴念夫
第二 井上真由巳
第三 上條 恒嗣
東部 赤羽 陽介
城北 山本 治
中央 山岸 信一
安原 大和 靖
城東 征矢野邦彦
白板 鶴木 忍
田川 野本 晃大
庄内 岩岡 悦子
鎌田 小山 淳一
松南 伊藤 和彦
島内 川上 弘
中山 横林 朋実
島立 藤森寿美子
新村 山口 茂
和田 宮澤かつ恵
神林 井上 逸雄
笹賀 窪田 守
芳川 村田 正幸

地産地消のかんたんレシピ

3分でもう一品 『ちくわの磯辺揚げ風』 磯辺揚げを揚げずに作る!!

- 材料: ちくわ、マヨネーズ、青のり
1. ちくわを斜めに3等分に切る
2. フライパンにマヨネーズをひいて、ちくわを炒める
3. 火が通ってふっくら・こんがりしたら、青のりをふる

